

Title	三田哲学会活動報告
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	2016
Jtitle	哲學 No.137 (2016. 3) ,p.145- 146
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000137-0145

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三 田 哲 学 会 活 動 報 告

〈三田哲学会 2015 年度総会議事録〉

日 時：2015 年 5 月 20 日（水）12:15 ～

場 所：三田・研究室棟 第 1 会議室

出席者：斎藤慶典，柏端達也，田中泉吏，荒畑靖宏，石田京子，奈良雅俊，金山弘昌，遠山公一，坂上貴之，寺澤悠理，山梨あや，安藤寿康，杉浦淳吉，稲葉昭英

・ 議事に先立ち，坂上会長より挨拶があった。

報告事項

1. 編集担当報告（奈良前幹事）
 - ・ 2014 年度の『哲学』編集・発行について，印刷部数を従来よりも少なくしたが大きな混乱はなかったことが報告された。
 - ・ 4 年生の卒業時の配布は，1 回分多い可能性もあり，再検討する必要があると指摘された（→審議事項へ）。
 - ・ 一般会員の原稿締切（10 月末）と，学内教員会員の原稿締切（12 月末）が 2 か月ほどずれている。とくに後者についてはさらに提出がずれこみ，編集幹事を經由せずに印刷会社に持ち込まれたりなど，問題が多いことが報告された（→審議事項へ）。
2. 庶務担当報告（稲葉幹事）
 - ・ 会勢報告がなされた。一般会員は 55 名，2014 年度の会費納入率は 49.1%，退職会員は 32 人，哲学送付機関は 72（このほかに取次店 1）。
 - ・ 2014 年度に補助申請があった研究会・シンポジウムは 14 件（斎藤 3，鈴木正崇 6，納富 1，伊澤 2，北中 1，稲葉 1），学会 1 件（松浦），国際学会 1 件（納富）であった。
 - ・ 会費未納会員の取り扱いについての規定，退職会員の退会についての規定などがなく，長期未納会員や高齢の退職会員が名簿上に存在する。取り扱いについて今後検討が必要であることが報告された。
3. その他
 - ・ 『村井実回顧録』が寄贈された。
 - ・ 2015 年度の編集委員についてはまだ未確定。編集委員を幹事が兼任する必要があることを確認した。

協議事項

1. 新入会員の承認について
 - ・ 2014 年度に仮入会をしていた西真季（ニューヨーク市立大学大学院），高橋優太（慶應義塾大学）の二氏の入会を正式に承認した。
2. 2015 年度の役員について
 - ・ 以下のような役員構成と役割分担とすることを承認した。

会長：坂上（心理学）、幹事長：斎藤（哲学）、会計監査：遠山（美学美術史学）

渉外・総務：坂上、斎藤

会計：寺澤（心理学）、石田（倫理学）

編集：山梨（教育学）、金山（美学美術史学）

庶務：稲葉（人間科学）、杉浦（社会学）

なお、会計監査は通常の幹事会には出席しないものとする。

3. 2014 年度決算報告および監査報告（寺澤幹事）
 - ・資料に基づき 2014 年度の決算報告及び監査報告がなされた。過去の会計上の齟齬を、すべて 2014 年度に清算する形をとったため、「過年度帳簿残高差額金」を支出として置き、問題を解消した。
 - ・資料に基づき李幹事、増田公認会計士による監査報告が示された。
 - ・決算報告、監査報告を承認した。
4. 2015 年度予算案（寺澤幹事）
 - ・資料に基づき、2015 年度予算案が提案された。従来の予備費を次年度繰越金と予備費にわけ、予備費の額を 30 万とした。
 - ・2014 年度からの繰越金に対して、2015 年度には 90 万ほど繰越金を解消する予算構造としている。
 - ・予算案を承認した。
5. その他
 - ・4 年生卒業時の『哲学』配布問題については、全員に配布はしないこととし、希望者のみ所定の場所から入手できるような形とする。
 - ・『哲学』原稿締切は、すべての会員共通で 10 月末とし、必ず編集幹事を通して提出することを申しあわせ事項とした。
 - ・会費未納会員、退職会員の取り扱いについては、会長を中心に検討し、来年度の総会で提案する形をとることにする。

訃報

2015 年 12 月 22 日、文学部教授・三田哲学会会員大石昌史先生がご逝去されました。

大石先生は享年 58 歳。交通事故による突然のご逝去でした。

大石先生のご専門は美学、東京大学大学院を修了されたのち、博士号（文学）を取得、1994 年に文学部の助教授に就任され、その後 21 年間にわたり学生のご指導にご尽力くださいました。

美学者としての先生のご専門はとりわけニーチェで、近年は日本的感性についてのご研究も精力的に進めておられました。

本誌編集委員としても長年ご尽力くださった先生を悼み、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。